

コード	402071102
記入日	H25.6.6

課コード	115
課名	農林課
課長名	下山 透
担当者	古川 利久

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	森林再生モデル事業
----------	-----------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 25 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	402	施策名称	農林業の振興	項コード	2
基本事業コード	40207	基本事業名称	林業の環境整備	目コード	4
事務事業コード	4020711	事務事業名称	造林事業費	細目コード	130
関連計画		法令・条例規則等	森林法		

計画 (PLAN)		※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。				
対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 町民		(対象指標1) 22,254人口(H24.4.1現在)				
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
(全体計画) ・保育面積 25ha ・断幹作業 3回	(平成24年度) ・天然林の保育(断幹作業)を行った。 →保育作業面積 5ha →断幹作業 1回	断幹回数	1回	66.7%	断幹回数÷ 計画断幹回数	平成25年度
		断幹回数	1回	100%		平成24年度
		① (達成率分析)	事業計画とおり、断幹作業を実施した。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・天然林の伐倒を行い、森林内に光をあてることにより下草や新しい雑木の生長を促す。生長により山林のもつ公益的機能の回復、増進を目的とする。また、高木化を低木化することにより、風倒被害を未然に防ぐ。伐倒する選木は常緑樹を中心に行っていることから落ち葉による腐葉土層の回復を行う。		保育面積	16ha	64.0%	保育面積÷ 計画保育面積	平成25年度
		保育面積	11ha	100%		平成24年度
		① (達成率分析)	計画していた保育作業面積について作業を実施した。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)		※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。									
	単位	全体計画		23年度以前	24年度		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 回	3	2	1	1	1	1				
	②										
成果指標	① ha	25	16	5	11	11	10				
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	7,140	5,705	1,435	4,270	4,270	1,435				
直接事業費 A	千円	5,040	4,305	735	3,570	3,570	735				
人件費 B	千円	2,100	1,400	700	700	700	700				
内訳	従事職員数	人	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円	2,835	2,835		2,835	2,835				
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	4,305	2,870	1,435	1,435	1,435	1,435				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	森林の保全、公益的機能の回復のため事業を行う必要がある。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	いる ● いない	理由	事業初年度であるため、早期の効果は確認できていない。追跡調査による効果実績を確認予定である。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理由	森林のもつ公益的機能の高度発揮が期待できる。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	いる ● いない	理由	早期に判断することが難しいため、今後調査等により判断する。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		代えられる ● 代えられない	理由	特殊事業で独自性が強いと考えられ、相当の事業費である。	

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2次評価	森林の保全、公益的機能の回復のためのモデル事業であるが、追跡調査による効果実績を検証し、今後の事業に活かしていくこと。
------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直して事業を継続</td> </tr> </table>	1次	2次	3次		●	●		このまま事業を継続				事業内容を見直して事業を継続				事業費を見直して事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
	●	●		このまま事業を継続																														
				事業内容を見直して事業を継続																														
			事業費を見直して事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。